

今回からは**認知症**について勉強していきます。どんな病気なのか詳しく見ていきましょう

認知症って？

認知症は、誰もが、いつ発症しても不思議ではない病気です。

「もし、自分がなったら」と考えたことのある人も多いでしょう。でも、過度に不安になるのではなく、認知症がどのような病気で、どんな予防法や治療法があるのかを知っておきましょう。



認知症を勉強していく前に・・・皆さん認知症ってどのように理解されていますか？

私たちは意識しなくても、日常生活のあらゆる場面で『**認知機能**』を必要としています。

例えば料理する時、人参や玉ねぎをうまく切れるのは『**手続き記憶**』という機能があるからです。片手で野菜をおさえて、もう片手で包丁を上手く扱うなど多くの手順を『**手続き記憶**』として身体が覚えているため、ほとんど無意識に行うことができるのです。

同じ記憶でも「いつ頃、こんなことをした」などという思い出の記憶は

『**エピソード記憶**』と言います。また、料理をする場合には、冷蔵庫の中身を把握し、

必要な材料を考え、買い物をするという段取りが必要です。このように計画を立てて

その通りに実行するという過程で必要とされる能力を『**実行（遂行）機能**』と

言います。このように私たちが生きていくためには、必要な情報を集めて、

正しく感じ取り、判断したり、推理したり、記憶したりする力が
必要です。それらの能力を総称して認知機能と呼んでいるのです。

この認知機能が、何らかの脳の異常に

よって著しく低下し、**日常生活に**

支障をきたすようになった状態のことを
認知症と言います。



▼ 手続き記憶

左手で押さえて、
右手で・・・



▼ エピソード記憶

？
昨日のお昼ごはん
なんだっけ・・・



▼ 実行（遂行）記憶

味噌汁を作るために
買い物に行くけど・・・



普通のもの忘れとは違う？

【認知症によるもの忘れと加齢による物忘れの違い】

認知症の症状としてよく知られているのは『もの忘れ』ですが、知っているはずの人や物の名前が**思い出せない**など、年をとると誰にでも起こるもの忘れを、

『**加齢によるもの忘れ**』といい、『**認知症によるもの忘れ**』とは区別しています。

『加齢によるもの忘れ』は**出来事の一部を忘れてしまう**ことで、例えば食事の後に『何を食べたのか思い出せない』という状態であるのに対し、

『**認知症による物忘れは**』**出来事そのものを忘れる**

ため『食事をしたこと自体』を忘れてしまい『ご飯は？』と何度も催促するようなことがあります。

最近1～2年間で、**同じことを**

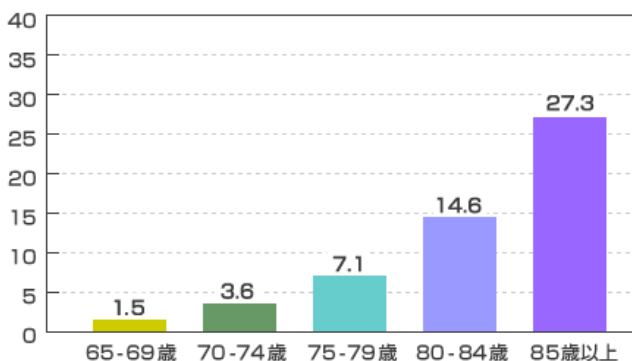
何度も言ったり聞いたりする、財布を置き忘れたり、しまい忘れたりする、変化がみられる場合は認知症の可能性が考えられます。



加齢によるもの	認知症によるもの
<ul style="list-style-type: none"> 加齢によるもので、病的な状態ではない 行為や出来事の一部を忘れる 思い出すのに時間がかかる 自分が忘れやすくなったと自覚している 忘れたことを「忘れていた」と認められる 時間や場所がわかる 日常生活に支障をきたすほどではない 悪化のスピードはゆるやか 	<ul style="list-style-type: none"> 病的な状態 行為や出来事そのものを忘れる 新しいことがまったく覚えられない 自分が忘れていないことに気付かない 作り話でつじつまを合わせようとする 時間や場所がわからなくなっている 日常生活に支障がある 悪化のスピードが速い

認知症の人はどれくらいいるの？

年齢別にみた認知症の人の割合



年齢別に認知症の人の割合をみると、**65～69歳では1.5%**ですが、年齢が**5歳上がる**ごとに**約2倍**になっていることがわかります。**85歳以上では約4人に1人**が認知症であるとされています。認知症予備軍の人を含むと人数はもっと増えるといわれています。

有限会社 **せがわ薬局**

石川県七尾市鍛冶町50番地

TEL 53-0810 FAX 53-3557

<http://www.segawa-pharmacy.com/>

文責：林 美樹